



施策 子育て・子育て

目指す 状態

すべての子どもが個人として尊重され、将来にわたって自分らしく安心して幸福な生活が送れる環境をつくれます。
子どもと子育てを地域とともに切れ目なく支え、すべての子どもが、置かれている環境等にかかわらず、
心身ともに健やかに育つ環境をつくれます。

1 施策の現状と課題

- 核家族化や地域のつながりの希薄化により、家事や育児の援助を十分に受けることができず、孤立・孤独感や不安を持つ妊産婦、子育て家庭が増加しています。
- 社会環境の変化により、子どもや子育て家庭が抱える課題やニーズが多様化・複雑化している中で、子どもの成長やそれぞれの事情に合わせて支援する仕組みや社会環境が求められています。
- 児童虐待の相談対応件数は、全国的に増加しており、本市においても増加傾向にあります。虐待の内容も複雑化しており、より専門的な知見からの支援や対応が求められています。

2 施策の現状と課題

- 保育需要は女性の就業率の上昇等の要因により、今後も一定期間において増加すると見込まれています。一方で、本市における0～5歳児の人口は横ばい、または減少するという予測もされていることから、十分に検証を行いながら、保育需要に適切に対応した保育の量の確保を図る必要があります。
- 大都市圏を中心に保育士確保が難しい中、保育人材の確保及び質の向上を図る必要があります。
- 配慮や支援を必要とする子どもや、医療的ケアを必要とする子どもへの対応が求められているほか、就業形態の多様化による多様な保育ニーズに応えていく必要があります。
- 本市では、小学生の放課後の居場所として、「こどもルーム」を設置しています。共働き家庭の増加に伴う保育需要の増加に対応するため、小学生の安全・安心な放課後の居場所の充実が求められています。
- 孤独や孤立を感じやすい若者（中高生世代）たちが、安全に安心して、自分らしく自由に過ごせる、家庭や学校以外の第三の居場所の提供が必要です。



施策の方向性 切れ目ない支援と相談体制の充実を図る

すべての子どもや家庭を取り残すことなく、妊娠、出生から子どもの自立まで、一貫した継続性のある、切れ目ない相談・支援体制の充実を図ります。
安心して妊娠・出産・子育てができるよう、子どもや保護者同士が交流し、仲間をつくり学び合える環境づくりを進めます。
複雑・多様化する子どもや家庭等の課題に対し、子どもの最善の利益を優先して専門的かつ丁寧な支援や対応を行うため、子ども・子育てに関わる専門人材の確保・育成による相談・支援体制の強化を図り、児童虐待の予防・対応にも積極的に取り組みます。

施策の方向性 子どもの成長に応じた教育・保育と居場所の充実を図る

乳幼児期の子どもが健やかに成長・発達できるよう、教育・保育施設を計画的に整備するとともに、教育・保育の質の確保・向上を図ります。
保護者の就労と子育ての両立等を支援するため、多様な教育・保育ニーズに対応するサービスの充実を図るとともに、支援を要する子どもに必要な保育の体制や環境づくりを進めます。
学校の余裕教室の活用や学校施設との複合化等により、小学生の放課後の居場所づくりを進めていきます。さらに「こどもルーム」と「放課後子ども教室」を一体的に運営することで、小学生が安全で安心して自分らしく放課後活動ができる居場所の充実を図ります。
中高生世代の若者が、安全に安心して、自分らしく過ごせる居場所づくりを進めます。
すべての子どもが意見を表明する機会や社会的な活動に参画できる環境整備に取り組みます。



施策 子育て・子育て

3 施策の現状と課題

- 貧困の状況にある子どもやヤングケアラー、外国につながるのある子どもなど、様々な事情や困難を抱える子ども、子育て家庭について、相談や支援の充実が求められています。
- 障害のある子や発達に不安を抱える子を持つ保護者への継続した相談と支援が求められています。
- ひとり親家庭では、子育てと生計の維持を一人で担う必要があり、複雑で困難な課題を抱えているかたもいることから、生活の安定と向上のための支援が重要です。

施策の方向性 様々な状況に応じた子ども・子育て家庭の支援の充実を図る

生まれ育った環境に左右されることなく、子どもが健やかに育つよう、貧困の状況にある子どもや外国につながるのある子どもへの支援を推進します。

障害のある子どもが健全に育ち、障害の有無によって分け隔てられることなく、身近な地域で安心して生活できるようにするために、年齢や能力など個別の状況に応じた適切な支援を行います。

ひとり親家庭の自立に向け、生活支援や就業支援など、関係機関等と連携して各種支援を展開します。

4 施策の現状と課題

- 子育て支援に関する情報が十分に行き渡っていないため、必要な支援につながっていない子ども、子育て家庭もあります。また、子育て支援団体の育成や、地域における連携の支援が重要です。
- 様々な困難を抱えた子どもや若者が社会で自立していくためには、地域や関係者・関係機関の理解と協力が不可欠であり、地域社会におけるネットワークなどの資源を活用したサポートが必要となります。

施策の方向性 子どもと子育てを支える地域づくりと連携体制の充実を図る

子ども・子育てに関する情報が、子育て家庭や子どもに関わる多くの支援者をはじめ、すべての市民や事業者等にも伝わるよう、情報提供体制の充実を図るとともに、市民や事業者等による子育て支援活動を支援します。

支援が必要な家庭の様々な養育課題やニーズに対応するため、関係機関との連携強化を図ります。

様々な養育環境にある子ども・若者に対して、社会全体で養育していくための環境づくりを推進するとともに、子ども・若者の自発的な活動を支援する地域づくりを進めます。

●主な関連部門計画

- 柏市母子保健計画
- 柏市子ども・子育て支援事業計画
- 柏市保育のあり方に関する基本方針

- 柏市ひとり親家庭等自立促進計画
- 柏市こどもの貧困対策推進計画